

専門分科会名

CMIP3 マルチ気候モデルにおける大気海洋諸現象の再現性比較

趣旨説明

地球温暖化に伴う環境変化が、具体的にいかなる現象としてどのような振幅で発現し得るかは、私達の生活にとって重要な問題である。世界各国の機関において温暖化の将来予測のための気候モデルシミュレーションが行われ、IPCC の第 4 次報告書にその新しい知見が集約された。本専門分科会では、様々な大気海洋現象に焦点をあて、WCRP 第 3 次結合モデル相互比較プログラム (CMIP3) の下に集約されているマルチモデル 20 世紀結合実験結果と観測データとの比較解析によって大気海洋諸現象についての気候モデル再現性を検討した研究成果を持ち寄り、個々の現象の再現性およびそれらの相互関係を議論する。この議論を通じて、現象変化予測のためのモデルの検討に資するとともに、対象とする現象のメカニズムについての理解を深め、温暖化の影響でそれらが将来被り得る変化・変調についての予測結果の解釈にも資することを目標とする。

コンビーナー・連絡先

高薮 縁 yukari@ccsr.u-tokyo.ac.jp

木本昌秀 kimoto@ccsr.u-tokyo.ac.jp

尾瀬智昭 tomoaose@mri-jma.go.jp

中村 尚 hisashi@eps.s.u-tokyo.ac.jp